

7 いじめのない社会へ —保護者にできることは—

「いじめ問題」が報道されるたび、同じ世代の子どもを持つ保護者として、悲しい思いで受け止めるだけでなく、我が子への不安も高まります。「いじめにあっていることを隠していないだろうか。」「友達を苦しめるようなことをしていないだろうか。」「子どもたちは、どの子も自分の環境の中で一生懸命がんばっています。すべての子どもたちが、自分らしく楽しい毎日を送るために、わたしたち保護者は何ができるのか考えてみましょう。

★中3生徒作文「いじめのスパイラル」より抜粋

・・・・・・・・

中学校一年生の頃の私はいじめなんて自分に関係ないと思っていました。私は運動部に所属し、その中で一年生はグループに分かれることはあっても自分一人になることはありませんでした。だから私は安心していました。

ところが、私は急に一人ぼっちになり始めたのです。自分では、なぜそうなるのか分かりませんでした。離れていく友達に焦りと不安を感じながら、必死にみんなについていきました。でも、日が経つにつれて友達は完全に私から離れていき、私は一人ぼっちになりました。いじめは、部活動中だけでなく日常生活にも広がっていきました。でも家族にはこのことを一切話しませんでした。心配をかけたくなかったのと、自分のこんな情けない姿を見せたくなかったからです。辛かったけど、クラスの友達がいつも一緒にいてくれたので何とかまだ耐えられました。いつも笑顔で明るいふりをして、誰も見ていないところで泣く、そんな学校生活を送っていました。

そんなある日、学校で生活アンケートがありました。その中にいじめに関する項目があり、私はその質問を読んでしばらく考えました。迷ったあげく、限界を感じていた私は全て正直に答えました。その日私は家に帰って両親にも正直に話しました。私が泣きながら話すと、父も母も「よく頑張ったね。」と泣きながら私の背中をなでてくれました。部活の先輩にも相談したら、先輩は黙って私の話を聞いてくださり、

・・・・・・・・

【第31回全国中学生人権作文コンテスト入賞作文集より（法務省）】

- この作文のこの後は、周りの人の支えや、いじめていた子との和解を経ていじめが解消し、「いつも相手の気持ちを考えること」「たくさんの人に支えられていること」を学んだこととしてまとめられていきます。
- いじめを未然に防止する、いじめを乗り越えることは、難しいことのように思えますが、決して不可能なことではなく、子どもたちのためには必ずそうしていかなければならないことです。保護者としてできることがきっとあるはずです。

- 1 作文を読んでどんな感想を持ちましたか。感想や、いじめをなくすために保護者ができることについての考えを書きましょう。

- 2 話し合いの中で気づいたこと、参考になったことを書きましょう。

POINT

「いじめ」の問題は、深刻かつ重大な社会問題であり、家庭・地域・学校が連携して、その解決に向けて取り組まなければならない重要な問題です。子どもたちが学校や地域という集団生活の場で、よりよい人間関係（友人関係）を築くよう、日頃から子どもたちを支援し、援助するとともに、一人ひとりが人権感覚をより高め、それを日々の生活に生かしていくようにすることが大切です。